

令和5年11月 斐伊川水系水質情報

令和5年11月(宍道湖16日・中海6日採水)								単位:mg/l(Chl-a: μ g/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	4.0	△	平年並み	3.5	△	平年並み	4.2	△	平年並み
全窒素	上層	0.54	△	平年並み	0.40	○	良好(平年並み)	0.48	△	平年並み
全リン	上層	0.067	×	やや高い	0.062	×	やや高い	0.075	△	平年並み
Chl-a	上層	17	△	平年並み	16	△	平年並み	23	△	平年並み
塩化物イオン	上層	3,830	×	やや高い	12,400	△	平年並み	13,500	×	やや高い
	下層	3,880	△	平年並み	16,200	△	平年並み	16,000	×	やや高い
溶存酸素	上層	10.6		平年並み	9.5		平年並み	9.4		平年並み
	下層	9.9		平年並み	6.0		平年並み	3.8		やや低い

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	6.2	下降	3.7	横ばい	4.7	横ばい
全窒素	上層	0.61	やや下降	0.43	横ばい	0.51	横ばい
全リン	上層	0.135	下降	0.059	横ばい	0.064	横ばい

宍道湖の透明度は1.1mから2.1mと上昇し、良好。中海の透明度は1.8mから2.0mと横ばいで、平年並み。米子湾の透明度は1.2mから1.5mとやや上昇し、平年並みとなっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値＋標準偏差値 10年間平均値 平均値－標準偏差値	↑	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合には<良好>とする。
平均値－標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 <やや低い> (塩化物イオン)
平均値－標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注) 平均値±標準偏差値 …… 全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化… やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍… 全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化… 横ばい

平均値±標準偏差値の3倍… 全体のおよそ 99.7%